

神成文裕

医療法人社団鴻愛会
ここのす共生病院 理事長

2018年の就任後、整形外科診療や高齢者救急などの機能を強化、1年で経営を黒字化した神成文裕理事長。21年5月に新病院に移転し、AI問診や事前Web問診などICT活用を推進した、新しい時代の病院づくりに邁進する30代の若きリーダーは、「医療・介護の連携モデル」の構築をめざす。



Fumihiko Kannari

医療と介護の壁をなくし 地域包括ケアを担う 新たな連携モデルをつくる

撮影=原恵美子

Q&A 10問10答

Q1 自分の性格をひとりで言い表すと？

超ポジティブ。ネガティブなことも突き詰めていき、ポジティブに変えてしまう。

Q2 弱点を1つ教えてください。

何かに集中するとほかのことを忘れてしまうこと。

Q3 最近うれしかったことは？

スタッフが患者さんや仲間のために、自立して働きかけをしてくれることが多くなったこと。

Q4 今はまっているものはありますか？

スパイスカレーづくり。夜中につくるとストレス解消になります(笑)。

Q5 タイムマシンがあったら行きたいのは過去？ 未来？

過去。ターニングポイントに戻って違う選択をした結果が、今にどうつながっているかを知りたい。

Q6 人生で最も影響を受けた人は？

家族、父からは「人のために働け」と言われ続けていた。言われ続けていると自分の考えになってくるものだなと思い、言い続けることの重要性を感じ、実行している。

Q7 日課はありますか？

1日分の野菜が摂れる100%ジュースを毎食飲む。

Q8 人生最後に食べたいものは？

納豆巻きとネギト口巻き。

Q9 今一番会いたい人は誰ですか？

コロナ禍で会えていない、カンボジアの姉妹病院、アルコール共生病院のスタッフたち。

Q10 病院トップとしてふさわしい素養は？

現場主義。信念を持ちながら、形にするために柔軟な発想力を持つこと。その想いをガス欠させず、心を燃やし続ける。

●医療法人社団鴻愛会 こうのす共生病院

介護グループを母体に地域の急性期医療を担う



介護・福祉、医療、教育事業を展開する元気グループの一法人が運営する。2005年から地域の急性期医療を担ってきたが、18年に体制を一新。医療、介護、福祉サービスを一体して提供できるよう取り組む。理念は「苦しみや悲しみを癒し、希望にお手伝いする あなたと共に生きる病院」。許可病床数102床(急性期一般入院料470床、地域包括ケア病床32床)。<https://kouaikai.jp/>

しましたが、電子カルテやPACS、AI問診システム、電子マネー決済、インカム、ファミレスの呼び出し機能を参考にした待合システムも導入しました。また勤怠管理システムや薬剤業務支援システムやスタッフの業務効率の改善を考えた機器もかなり積極的に導入してきました。新病院の移転計画があり、お金をかけられない状況でしたので、他業種のシステムやネットでの情報検索を参考にしながら、費用対効果も意識して現場に落とし込んでいく、完全にアイデア勝負でした。

また、法人としての運営方針や新しいシステムを導入する意義をしっかりと現場に伝え、現場の意

——21年5月、新病院に移転しました。どういった病院にしていきたいと考えていますか。

——21年5月、新病院に移転しました。どういった病院にしていきたいと考えていますか。

神成 整形外科や透視患者さんも

——21年5月、新病院に移転しました。どういった病院にしていきたいと考えていますか。

——21年5月、新病院に移転しました。どういった病院にしていきたいと考えていますか。

——大学病院で整形外科医として救急医療に携わっていたなかで2018年に民間病院の理事長に就任しましたが、何から取り組まれましたか。

神成 父と兄が複数の社会福祉法人を運営していて、2015年には大学に所属しつつ、グループの社会福祉法人の副理事長に就きました。医師の立場として介護施設を訪問し、現場の声を聞くことで、医療と介護との間にある問題点を

——病院の方向性として挙げた一つ、システム導入ではAI問診など目新しいことを取り入れています。

——病院の方向性として挙げた一つ、システム導入ではAI問診など目新しいことを取り入れています。

——大学病院で整形外科医として救急医療に携わっていたなかで2018年に民間病院の理事長に就任しましたが、何から取り組まれましたか。

——大学病院で整形外科医として救急医療に携わっていたなかで2018年に民間病院の理事長に就任しましたが、何から取り組まれましたか。

——大学病院で整形外科医として救急医療に携わっていたなかで2018年に民間病院の理事長に就任しましたが、何から取り組まれましたか。

——大学病院で整形外科医として救急医療に携わっていたなかで2018年に民間病院の理事長に就任しましたが、何から取り組まれましたか。



PROFILE

かなり・ふみひろ●2008年、埼玉医科大学医学部卒業、同大学国際医療センターで初期研修医として勤務。10年、同大学病院整形外科教室に入局、同院や大学関連病院に勤務。15年、同センター救命救急科助教、社会福祉法人長寿村副理事長就任。18年、こうのす共生病院理事長・整形外科部長に就任。同年9月～20年9月まで院長を兼任。現在も同センター救命救急科非常勤医師として勤務、同教室医局員として在籍。日本整形外科専門医・指導医

働きやすい、働きがいのある職場づくりが必要